

目 次

繊維情報

・2006年2月の繊維品輸出概況(繊維品全体・原料・織編物・主要二次製品)	1
・2006年1月の繊維品輸入概況(繊維製品計・糸類・織物類・衣類)	8
・アジア 中 国 2006年1月の繊維品貿易・輸出入とも増勢を維持	11
韓 国 2005年の繊維品貿易・輸出は8%減、輸入は4%増	14
台 湾 2005年の繊維品貿易・輸出は減少、輸入は微減	17
・米 州 米 国 2006年1月の繊維品輸入、東アジア諸国が大幅増	20
2006年2月の大手小売店販売、冷え込む	22

組合関係の会議と催事

・(2006年3月)(2006年4月のスケジュール)	25
----------------------------------	----

組合業務報告

・輸出入組合と中国紡織品進出口商会との「第10回日中繊維貿易定期協議」開催概要(輸出入)	28
・平成18年度の繊維品包括保険特約を締結(輸出)	30
・貿易制度専門委員会「環境リサイクル対策G」韓国派遣調査概要(輸入)	32

お知らせ

・繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出)	34
・「スリナム」向け保険引受け方針の変更(輸出)	35
・5月の輸入通関手続相談窓口開設日(輸入)	36

組合員情報

・組合員情報	36
・海外取引照会・展示会案内	37



2006年2月の繊維品輸出概況

・繊維品全体の輸出

- 前年同月比5%増の6億4,094万ドルと8ヶ月振りに増加 -

2006年2月の繊維品輸出は、ドルベースで、前年同月比5%増の6億4,094万ドル(1~2月:前年同期比6%減)と、前月までの減少推移から一転し、8ヶ月振りに増加に転じた。

また、為替が2005年2月の108.44円に対し、2006年2月は117.89円と約12%の円安推移となっていることから、円ベースでは18.5%増(同6%増)の755億6,000万円と大幅な増加となった。

<主要地域別輸出>

2月の輸出を主要地域別に見ると、全輸出の76%を占め、わが国の輸出動向を左右する最大市場の東アジア向けが、前年同月比7%増(同6%減)の3億4,962万ドルと、8ヶ月振りに増加に転じた。

東アジアの主要国向けでは、最大市場の中国、香港、韓国、ベトナム、タイが好調に推移し、台湾、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシアの減少を補った。中でも、このところ不振に推移し、先行きが不安視された最大市場の持ち帰り中心の中国が、8ヶ月振りに増加推移となったのが、明るい材料として注目される。

純輸出市場向けは、シェア5%の西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が共に先月に続き増加推移となり、全体として22%増(同16%増)の2,554万ドルと、オイル景気もあり、好調な推移となった。

欧米市場は、シェア8%のEUは主力の織物が振るわず7%減(同15%減)の5,093万ドル、シェア7%の米国も織物等が不振で6%減(同1%減)の4,558万ドルと何れも後退推移となった。

<主要商品別輸出>

2月の輸出を主要商品別にみると、各品目共に2月は、総じて数量、金額共に増加傾向にあるが、単価の低下により、全般的に数量の伸びよりも、金額(ドルベース)の伸びは小さく、また一部品目では数量増の金額減となっている。

まず綿類の輸出は、全体としては、数量で12%増(同2%減)、金額で13%増(同2%増)と数量、金額共に2桁の増加推移となった。

太宗の合繊綿は、数量で16%増(同1%減)、金額で15%増(同3%増)となった。この内、主力のアクリル綿は、主要国の中国、イランが大幅に増加し、インドネシアは落ち込んだが、

数量で 22% 増（同 1% 増）、金額でも 22% 増（6% 増）となった。

一方、ポリエステル綿は、中心のタイ、中国、EU、米国が増加し、数量で 4% 増（同 4% 減）となったが、単価の下落により、金額では 1% 減（同 12% 減）となった。

その他の合繊綿では、ビニロン綿は、主力の EU 向けが減少し、数量で 16% 減（同 13% 減）、金額で 18% 減（同 17% 減）となった。

スフ綿は、主力の中国が減少したが、韓国、インドネシア、南アフリカが大幅に増加し、数量で 8% 増（同 1% 増）、金額で 18% 増（同 10% 増）となった。

糸類の輸出は、数量で 15% 増（同横ばい）、金額で 4% 増（9% 減）となった。

主力の合繊長糸は数量で 17% 増（同 1% 増）、金額で 1% 増（同 12% 減）となった。その内訳は、ポリエステル糸は、中国を中心とする東アジア及び米国が伸び、数量で 10% 増（同 2% 減）となったが、単価が低下したことから金額では 2% 減（同 12% 減）となった。一方、ナイロン糸は、タイ、フィリピン、中国が健闘し、数量で 11% 増（同 11% 減）、金額で 6% 増（15% 減）となった。その他の合繊長糸では、ポリウレタン糸は中国が大きく伸び、数量で 50% 増（同 9% 増）、但し、金額は単価の下落により 17% 減（同 29% 減）と大幅な減少となった。

また、人絹糸は、韓国は不振推移となったが、中国、EU がキューブラを中心に大幅に増加し、数量で 11% 増（同 3% 減）、金額で 20% 増（同 7% 増）となった。

太宗の織物類の輸出は、数量で 15% 増（同横ばい）となったが、金額では、単価の低下から 1% 減（同 11% 減）の微減となった。

織物の内訳では、中心品目のポリエステル長繊維織物は、数量で 17% 増（同横ばい）と久し振りに増加したが、金額では横ばい（同 8% 減）に止まった。

地域的には、全体の 66% を占める東アジア向けは、最大市場の中国、韓国、タイが好調に推移し、香港、台湾、ベトナム、シンガポール、スリランカ等は減少推移となったものの、東アジア全体として 11% 増（同 4% 減）となった。

一方、純輸出市場向けは、西アジアは、サウジアラビア、アラブ首長国が揃って好調に推移し、西アジア全体として 84% 増（同 37% 増）と大幅な増加となった。（但しこの中には、イエーメン向けの超安値品の大量の実績が含まれており、統計の間違いかとも思われるので財務省に照会中。）

欧米市場向けは、EU 向けはドイツ、スペイン、イタリアが健闘し 5% 増（同 6% 減）と徐々に増加、一方、米国は 17% 減（同 11% 減）と不振に終わった。

ナイロン織物は、数量で 40% 増（同 33% 増）、金額で 20% 増（同 18% 増）と主要織物の中では、最も好調な推移となった。

シェア 84% の東アジア向けは、主力の中国、香港が揃って激増し、全体として 63% 増（同 42% 増）の大幅増加となった。その他では、シェア 7% の米国は 46% 減（同 28% 減）とほぼ半減した。

綿織物は、数量で 3% 増（同 6% 減）と久し振りに量的には増加したが、金額は 3% 減（同 14% 減）と数量増の金額減となった。

繊維品輸出実績（2006年2月）

単位	2006年2月						2006年1月～2月						2005年実績		
	数量	金額		前年同月比		数量	金額		前年同期比		数量	金額			
		百万円	千ドル	数量	ドル		百万円	千ドル	数量	円		ドル	百万円	千ドル	
繊維品総合計		75,560	640,935	105		130,900	1,120,280	106		94	890,100	8,070,165			
原料(綿)合計	36,661	10,077	85,478	112	113	62,109	151,710	98	115	102	107,778	978,717			
スフ綿	4,999	2,099	17,809	108	118	9,866	4,117	101	124	110	23,495	212,920			
合繊綿	29,103	7,780	65,995	116	115	47,574	113,378	99	115	103	81,370	739,213			
(ポリエステル)	3,889	672	5,703	104	99	7,006	1,202	96	99	88	7,900	71,868			
(アクリル)	22,600	5,672	48,111	122	122	35,950	9,482	101	119	106	59,092	536,513			
糸 合計	11,630	8,200	69,554	115	104	20,715	14,661	100	102	91	95,133	864,266			
人絹糸	1,111	917	7,775	111	120	1,966	1,685	97	120	107	12,825	9,694	87,856		
スフ糸	18	29	244	58	67	50	58	82	77	68	430	430	3,918		
合繊長糸	9,628	6,376	54,084	117	101	17,146	11,372	101	99	88	107,118	72,886	662,944		
(ナイロン)	2,264	1,553	13,170	111	106	4,098	2,813	89	95	85	23,971	16,878	153,473		
(ポリエステル)	3,351	1,495	12,680	110	98	5,878	2,642	98	98	88	39,619	17,695	161,032		
合繊短糸	276	232	1,964	121	105	488	411	88	96	85	3,565	32,329			
綿 糸	473	340	2,881	100	91	855	624	101	100	89	5,540	4,213	38,008		
織物合計	101,579	29,220	247,858	115	99	170,460	50,032	100	100	89	359,644	3,257,973			
絹織物	680	1,162	9,858	120	103	1,167	1,889	118	103	91	13,387	121,576			
人絹織物	5,696	2,183	18,517	115	112	9,189	3,590	95	109	97	25,408	230,287			
スフ織物	776	337	2,857	82	70	1,690	708	86	77	69	5,172	46,859			
合繊長織物	43,286	9,103	77,219	117	100	74,833	15,994	104	104	93	121,637	1,100,944			
(ナイロン)	5,252	1,027	8,710	140	120	9,133	1,732	133	133	118	58,693	11,881	107,382		
(ポリエステル)	32,330	6,473	54,911	117	100	55,461	11,336	100	104	92	447,797	91,064	824,217		
合繊短織物	18,912	3,628	30,773	135	101	29,041	6,080	110	102	91	166,976	39,477	358,090		
綿織物	28,835	10,341	87,718	103	97	48,993	17,604	94	97	86	324,399	112,859	1,023,683		
毛織物	2,688	1,875	15,905	106	103	4,310	3,121	76	84	75	38,815	350,009			
不織布	49,745	5,070	43,007	105	113	94,256	9,269	105	121	108	592,985	505,607			
タイヤコード織物	1,239	225	1,910	83	83	2,271	395	94	104	93	2,565	23,416			
コーテッド織物	1,221	3,198	27,126	101	100	2,050	5,285	95	109	97	42,650	387,386			
ニット生地		5,849	49,611		122		9,688		117	104	66,435	600,666			
アハレル		3,698	31,367		103		6,770		97	86	40,709	370,175			
その他		10,023	85,024		111		17,077		112	100	119,428	1,081,958			

(注) 1. 繊維品総合計は、HS関税分類11部の合計。 2. 原料(綿)、糸、織物合計は分類番号50類から55類までのそれぞれの合計。

3. アハレルは61類(ニット製衣類)と62類(布帛製衣類)を合算したもの。 4. その他は、63類及び56類～59類の一部商品。

87%のシェアを占める東アジア向けは、最大市場の中国、ベトナム、タイ、フィリピンが好調に推移し、香港、韓国、台湾、マレーシアは減少推移となったものの、東アジア全体として10%増（同横ばい）となった。その他の市場では、シェア8%の米国は28%減（同30%減）と引き続き低調な推移に終わった。

ポリエステル短繊維織物は、数量で40%増（同13%増）となったが、金額は3%増（同8%減）に止まった。

全体の56%を占める東アジア向けは、ベトナムが減少したものの、圧倒的シェアを占める中国、香港、シンガポールが増加し、東アジア全体として11%増（同4%減）となった。一方、シェア43%の民族衣装用の西アジアは、サウジアラビアが不振に終わったが、アラブ首長国、クエートが増加、更にイエメンが急増し（ポリ（長）織物同様の統計上の誤りの可能性がある。）、西アジア全体として91%増（同46%増）と大幅な増加となった。

人絹織物は、数量で15%増（同5%減）、金額で12%増（同3%減）と数量、金額共に2桁の増加となった。

シェア70%の東アジアは、中国を始め、香港、韓国の主要国が揃って好調に推移し、東アジア全体として35%増（同横ばい）となった。シェア15%の西アジアは、サウジアラビアが大幅増となったが、アラブ首長国が減少し、全体として横ばい（同8%増）となった。一方、欧米市場は、EUが11%減（同15%減）、米国49%減（同38%減）と揃って低調な推移となった。

毛織物は、数量で6%増（同24%減）、金額で3%増（同25%減）と11ヶ月ぶりに増加に転じた。

地域的には、東アジアが97%とほぼ全量を占めている。中でも、圧倒的なシェアを占める持ち帰り用の中国、ベトナムが好調に推移し、香港は微減となったものの、東アジア全体として7%増（同24%減）となった。

不織布の輸出は、数量で5%増（同5%増）、金額で13%増（同8%増）と先月に続き堅調な推移となった。

全体の57%を占める東アジアは、中国、香港、タイが大幅に増加し、韓国、台湾が激減したが、全体として3%増（同8%減）となった。

欧米市場は、シェア33%の米国は13%増（同62%増）と、このところの好調を持続しており、また、シェア7%のEUも4%増（同13%減）と堅調な推移となった。

コーテッド織物の輸出は、数量で1%増（同5%減）、金額で横ばい（同3%減）となった。

全体の80%を占める東アジアは、主要輸出先の中国、香港が伸び、韓国、台湾、ベトナムは不振に終わったが、全体として6%増（同1%減）となった。欧米市場は、シェア8%のEUは37%増（同15%増）と好調に推移したが、シェア5%の米国は46%減（同45%減）と大幅な減少となった。

ニット生地の輸出は、数量で31%増（同13%増）、金額で22%増（同4%増）と数量、金額共に好調な推移となった。

全体の約 9 割強を占める東アジア向けは、主要国では、韓国、台湾が減少推移となったが、最大市場の中国、また香港、ベトナム、タイ、インドネシアは何れも好調な推移となった。一方、欧米市場向けは、米国は大幅な増加となったが、EU は微減推移となった。

アパレルの輸出は、昨年来大幅な減少推移が続いていたが、2月 は、金額で 3% 増（同 14% 減）となった。

内容的には、布帛製衣類の外衣類は、韓国、香港、米国は伸びたが、中国、台湾、EU が不振で、金額で 1% 減（同 19% 減）となった。下着類は、韓国、中国、タイ、米国が大幅に増加し、台湾、香港、EU は低調に推移したが、金額で 10% 増（同 7% 減）となった。

また、ニット製衣類は、外衣類は、中国、香港、韓国が大幅に増加し、台湾は減少したが、金額で 33% 増（同 1% 増）となった。一方、下着類は、中国、台湾、米国は好調に推移したが、韓国、香港、EU が減少推移となり、4% 減（同 13% 減）となった。

・原料（綿・糸）の輸出

<綿輸出>

合繊綿、スフ綿などの綿合計は、ビニロン綿が減少推移となった他は、主力のアクリル綿をはじめ、ポリエステル綿、ナイロン綿、スフ綿がいずれも増加推移となり、全体では 12% 増の 36,661 トンと大きくプラスに転じた。また、金額についても 13% 増の 8,548 万ドルとなった。

2006 年 2 月の原料（綿・糸）の輸出状況

単位：トン、千ドル、セント、%

	2006年2月				2006年1～2月			
	数量	前年 同月比	金額	単価	数量	前年 同期比	金額	単価
スフ綿	4,999	108	17,809	356	9,866	101	35,287	358
合繊綿	29,103	116	65,995	227	47,574	99	113,378	238
ポリエステル	3,889	104	5,703	147	7,006	96	10,295	147
アクリル	22,600	122	48,111	213	35,950	101	81,117	226
他合繊綿	2,615	92	12,181	466	4,617	91	21,966	476
人絹糸	1,111	111	7,775	700	1,966	97	14,431	734
合繊長糸	9,628	117	54,084	562	17,146	101	97,363	568
ナイロン	2,264	111	13,170	582	4,098	89	24,089	588
ポリエステル	3,351	110	12,680	378	5,878	98	22,613	385
他合長糸	4,013	127	28,233	704	7,170	112	50,660	707
綿糸	473	100	2,881	609	855	101	5,345	625

出所：財務省統計

<糸輸出>

糸は、綿糸が横這い推移となった他は、主力の合繊長繊維糸をはじめ全般的に順調に推移し、全体では15%増の11,630トン、金額についても4%増の6,955万ドルとなった。

・織・編物（絹・化合繊・綿・毛）の輸出

2月の織物（絹・化合繊・綿・毛）の輸出は、ポリエステル（長）織物を始め、綿織物、毛織物の主要織物は、軒並み量的に増加推移となり、織物トータルとして、数量で前年同月比15%増（前年同期比横ばい）となったが、全般的に単価の低下が目立ち、金額では1%減（同：11%減）の微減となった。

2006年2月の織・編物（絹・化合繊・綿・毛）の輸出状況

（単位：1000SM、1000\$、前年比は数量比%）

	2006年2月			2006年1-2月		
	数量	金額	前年同月比	数量	金額	前年同期比
絹織物	680	9,858	120	1,167	16,155	118
人絹織物	5,696	18,517	115	9,189	30,702	95
スフ織物	776	2,857	82	1,690	6,069	86
合繊（長）織物	43,286	77,219	117	74,833	136,908	104
ポリ（長）織物	32,330	54,911	117	55,461	97,032	100
ナイロン織物	5,252	8,710	140	9,133	14,819	133
合繊（短）織物	18,912	30,773	135	29,041	52,017	110
ポリ（短）織物	17,808	28,914	140	27,059	48,591	113
綿織物	28,835	87,718	103	48,993	150,631	94
毛織物	2,688	15,905	106	4,310	26,701	76
コーテッド織物	1,221	27,126	101	2,050	45,202	95
ニット生地	15,988	49,611	131	26,679	82,863	113

（注）1. ポリエステル（長）、ナイロン（長）織物は、ポリエステル、

ナイロンの重量が全体の85%以上の織物。

2. コーテッド織物の数量単位はトン。

なお、この織物トータルの中に含まれていない、ニット生地、コーテッド織物は何れも増勢推移となった。

市場的には、織物トータルで、主力の東アジアは、主要国では、最大市場の中国、ベトナムが前年同月を上回り好調に推移、韓国、香港、タイは数量増の金額減となった。一方、台湾、シンガポール、インドネシア、フィリピン、マレーシアは数量、金額共に前年同月を下回った。特に圧倒的なシェアを占める中国が、このところの不振から一転し増加に転じたのが今月の明るい材料。

純輸出市場では、西アジアは、オイル景気もあり、アラブ首長国、サウジアラビアが揃って数量、金額共に前月に続き前年同月を上回り好調を持続した。

一方、欧米市場は、EU、米国共に主力の合織（長）織物、綿織物が振るわず、数量、金額共に減少推移となった。

・主要繊維二次製品の輸出

繊維二次製品の2006年2月の輸出は、全般的に堅調に推移し、金額（ドル）ベース（以下同じ）で、アパレルは布帛製外衣が微減、ニット製下着が減少推移となったが、布帛製下着及びニット製外衣が増加推移となり、全体では前年同月比3%増の31,367千ドルとなった。

他方、その他の品目については、漁網・その他の網・網地が微増、敷物及び細幅織物・紐類は増加推移となった。

2006年2月の主要繊維二次製品輸出状況

単位：千米ドル、金額：前年比%

	2006年2月		2006年1~2月	
	金額	前年同月比	金額	前年同期比
布帛製衣類・付属品	16,701	100	33,067	83
外 衣	9,502	99	20,064	81
下 着	4,075	110	7,551	93
スカーフ・マフラー	690	128	1,238	124
ニット製衣類・付属品	14,667	106	24,912	91
外 衣	4,958	133	8,538	101
下 着	7,093	96	12,111	87
敷 物	2,590	128	4,346	97
漁 網 ・ 網 ・ 網 地	2,981	101	5,278	105
細 幅 織 物 ・ 紐 類	14,726	104	26,323	95

2006年1月の繊維品輸入概況

1. 繊維製品計

1月の輸入は、金額が円ベース前年同期比122.0%(前月比は111.5%)、ドルベース同109.1%(前月比は114.6%)、数量(重量)同106.3%(前月比は105.8%)と、円金額が6ヶ月連続で増加、ドル金額は2ヶ月連続で増加、数量も2ヶ月連続で増加となった。前月比は、梅春物の輸入に加えて、冬物の追加発注もあり金額、数量ともに増加した。

糸類は数量で前年同期比6.6%減と前月よりマイナス幅が拡大し8ヶ月連続で減少。内訳は、絹糸、人織(長)糸が増加、毛糸、綿糸、人織(短)糸、その他の糸が減少した。織物類は同1.9%増と2ヶ月連続で増加。絹織物、黄麻織物、人織(長)織物、人織(短)織物、メリヤス生地、その他の織物が増加し、毛織物、綿織物が減少した。衣類は同12.2%増と5ヶ月ぶりに増加。衣類を除くインテリア用品等の二次製品は同6.0%増と2ヶ月連続で増加となった。

前月は円金額が17.1%増加、ドル金額が2.5%の増加、数量も0.9%の微増となったが、今月は円金額が22.0%増加したのをはじめ、ドル金額が9.1%の増加、数量も6.3%の増加となり、それぞれ前月よりプラス幅が拡大した。1月の為替相場は前年同月比11.9%の円安であった。ドル金額の内訳を見ると、二次製品が10.4%の増加、太宗を占める衣類も10.7%増加したが、織物類は2.9%減、糸類は5.2%減少し、繊維製品計では9.1%の増加となった。

2. うち糸類

- 綿糸の輸入実績は、トンベースで前年同月比が16.2%の減少となったものの、前月比は5.8%の2ヶ月連続プラスとなった。これは、純綿糸の輸入が昨年7月から11月の2万梱台の記録的な低水準輸入の反動と、昨年末に市況が回復したことによるものと思われる。全体の約90%を占める純綿糸の輸入を前月に比較すると国別では3位のインドが1.6%の微減となったが、首位のパキスタンが19.4%、2位のインドネシア12.4%と上位がそれぞれ大幅な増加となった。番手別に見ると20番手中心並びに40番手以上はほぼ前月並となったが、30番手中心が17.8%の大幅増となった。また、糸種別にみるとカード糸が20.1%の増加となったがコマ糸は4.3%の減少となった。
- 毛糸の輸入実績は前年同月比重量ベース1.0%の微減ながら3ヶ月連続で減少した。糸種別に見ると、紡毛糸の輸入が同6.6%増と前月の71.4%減の反動から2ヶ月ぶりの増加となったが、太宗を占める梳毛糸は同1.4%減となった。国別では、トップシェアの中国が同14.8%増と3ヶ月ぶりに増加したが、第2位のマレーシアは同19.0%の減少となった。この他の国では、前月同様に台湾、タイ、インド、ペルーなど軒並み主要国からの輸入が減少した。

- 人織系の輸入実績は、トンベースで人織(長)糸が前月比 23.5%の大幅増、前年同月比も 3.6%の増となり 7 ヶ月ぶりにプラスとなった。主要商品を前月に比較すると主力の台湾からのポリエステル糸が '03 年 10 月に次ぐ 9,000 トン超えとなったこともあり 26.9%の大幅増となり、ナイロンも昨年 9 月以来の 2,000 トン超えとなったことにより 23.5%の増加、量的に少ない人絹糸も 19.6%の増となった。一方、人織(短)糸は主力商品の T/C、T/R 系のインドネシアからのポリエステル紡績糸が 11.0%減、中国、インドネシアからのマイヤー毛布用のアクリル紡績糸も 7.2%減となったものの、ガムテープ、ふすま向けのスフ糸は 25.9%となり全体では前月比 1.7%の微減となり、前年同月比も 15.4%の大幅減となった。

3. うち織物類

- 綿織物の輸入実績は、面積ベースで前月比 7.3%の増加となったものの、前年同月比は 8.6%の減少となった。国別で前月に比較すると全体の約 80%を占める中国は旧正月の前倒し輸出もあり 7.7%増、2 位のインドネシア 4.4%、3 位のパキスタン 24.5%と軒並みプラスとなった。品種別では主要商品のうち金巾 43.1%、綾織 10.8%の増加となったもののポプリン、細布・粗布は減少となった。
- 毛織物の輸入実績は、面積ベースで前年同月比 14.9%減と前月から減少幅が拡大し、3 ヶ月連続で減少した。中国からの輸入が同 1.7%減、イタリアからの輸入が 1.0%減と上位 2 ヶ国が共に微減に留まったものの、第 3 位のイギリスからの輸入が同 25.2%の大幅減となった。品種別では、紡毛織物が同 57.0%の大幅減で 8 ヶ月連続減少したが、主力の梳毛織物は同プラスマイナス 0%と前年並みだった。
- 人織織物の輸入実績は、面積ベースで人織(長)織物が前月比 3.6%増、前年同月比も 11.4%増となり 15 ヶ月連続プラスとなった。品目別に前月に比較すると量的に少ないナイロン織物が 47.7%の大幅減となったものの主力商品のポリエステル織物が 9.1%増、ポリプロピレン織物などその他織物も 7.1%の増加となった。国別にみると首位の中国がポリエステル織物の減少により 6.4%減となったものの 2 位の韓国は前月並み、台湾、ベトナムなどその他の国はポリエステルの増加により 2 桁のプラスとなった。一方、人織(短)織物は主力の T/C、T/R 織物のポリエステル織物が 26.4%、スフ織物も 9.9%の増加となり前月比は 18.3%のプラス、前年同月比も 2.4%の増加となった。

4. うち衣類

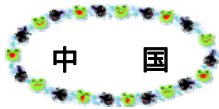
ニット製衣類が対前年同月比(枚数)で 14.7%増、布帛製衣類も同 12.7%増、身の廻り品も重量ベース 11.8%増となり、衣類計で重量ベース 12.2%増となった。ニット製衣類が 2 ヶ月連続で増加、布帛製衣類も 2 ヶ月続けて増加、身の廻り品も 2 ヶ月続けて増加し、衣類計は前月までの 4 ヶ月連続での減少から 5 ヶ月ぶりに増加となった。

主要国別に見ると

- 中国は対前年同月比（枚数）でニット製衣類が 16.3% 増加し 2 ヶ月連続で増加、布帛製衣類も 12.7% 増加し 2 ヶ月続けて増加、身の廻り品も重量ベース 12.3% 増で 2 ヶ月続けて増加となった。今年 1 月の衣類計（重量）のシェアは 91.5% となった（金額ベースでのシェアは 82.8% ）。
- 韓国はニット製衣類が同 4.2% 減少、布帛製衣類は同 240.4% 増と 3.4 倍となり 10 ヶ月連続で大幅に増加した。ニット製衣類が 4 ヶ月ぶりに減少、布帛製衣類は 10 ヶ月連続で増加した。
- イタリアはニット製衣類が同 27.3% 減と 13 ヶ月連続で減少、布帛製衣類も同 6.0% 減と 8 ヶ月連続で減少。
- ベトナムはニット製衣類が同 17.3% 減と 2 ヶ月続けて減少、布帛製衣類は同 1.2% 増と 4 ヶ月連続で増加した。
- 商品別には、ニット製衣類ではコート、スーツ、ジャケット、ズボン、ドレス、スカート、アウターシャツ、セーター、スポーツウェア、下着類が増加、アンサンブルが減少。中でも、ジャケットは対前年同月比（枚数）約 3 倍の大幅増となった。布帛製外衣類では紳士用が同 11.6% 増、婦人用も同 17.8% 増加した。紳士用ではコート、ジャケット、ズボン、下着類が増加、スーツが減少、婦人用は、コート、スーツ、アンサンブル、ジャケット、ドレス、スカート、ズボン、ブラウスが増加、下着類が減少となった。

前月は数量が対前年同月比 0.9% の微増、金額は円が同 17.1% の増加、ドルが同 2.5% の増加となったが、今月は数量が 6.3% の増加、金額は円が 22.0% の増加、ドルが 9.1% の増加となり、前月よりそれぞれ増加幅が拡大した。円金額の突出した増加率は 10% を超える円安に拠るもの。

国内マーケットは、この冬の全国的な厳冬により防寒衣料商品を中心に徐々に活況を呈した。これによる追加発注や、中国の旧正月前の前倒し輸入の影響などで今月は数量、金額ともに増加となった。



2006年1月の繊維品貿易・輸出入とも増勢を維持

【輸出】

- 24%増の97億4,038万ドルと依然大幅な増勢を維持 -

新たに欧米向けに規制枠が設定され、その動向が注目される、2006年度の中国の繊維輸出であるが、1月の輸出は、米国向けはこれまでに比べ大きく鈍化した。全体としては依然好調を維持しており、前年同月比24%増の97億4,038万ドルと大幅な伸びとなっている。

<地域別、国別輸出状況>

地域別では、東アジアがシェア41%(前年同月比:25%増)を占め、西アジアが7%(同39%増)、ヨーロッパが24%(同25%増)、北米が16%(同10%増)、中米が3%(同37%増)、南米が2%(同35%増)、アフリカが5%(同37%増)、大洋州が3%(同26%増)の市場構成となっている。

国別では、1位EU(16億1,032万ドル:13%増)、続いて日本(13億6,039万ドル:16%増)、米国(13億2,228万ドル:6%増)、香港(12億8,417万ドル:12%増)、韓国(4億1,183万ドル:52%増)、ロシア(2億8,383万ドル:68%増)、オーストラリア(2億3,330万ドル:23%増)、アラブ首長国(2億2,129万ドル:28%増)、カナダ(2億1,179万ドル:40%増)、シンガポール(1億7,707万ドル:148%増)の順で、この10大市場で輸出全体の71%のシェアを占めている。

昨年は、特に2005年より枠が撤廃されたEU、米国向けが衣料品を中心に突出した伸びとなったが、今年の特徴は枠の設定もあり、欧米の伸びが大幅に鈍化している代わりに、東アジア等その他の地域向けが、軒並み好調に推移していることである。

<品目別輸出状況>

品目別では、太宗の衣料品はもとより、原料(綿・糸)、織物類の素材の輸出も、国内の大増産を背景に各品目共に昨年に続き好調な推移となっている。

まず、中国の繊維品輸出全体の63%を占める最大輸出品目の衣料品及び同付属品の輸出は欧米の伸びが昨年に比べ大幅減少にもかかわらず、他市場の増加が補い、26%増の61億1,128万ドルと好調を維持している。

内容的には、ニット製衣料品及び同付属品の輸出が33%増の279億9,418万ドル、また布帛製衣料品及び同付属品の輸出は20%増の33億1,187万ドルとなった。因みに、昨年大きく伸びた、衣料品について主要輸出先をみると、ニット製衣料品は、トップ市場は日本(5億93万ドル:23%増)、続いて香港(4億638万ドル:24%増)、米国(3億1,717万ドル:2%減)

2006年1月の中国の繊維品輸出入状況

単位：1000ドル

	輸 入					輸 出				
	2005年実績		2006年1月～1月		前年比	2005年実績		2006年1月～1月		前年比
	数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額	
繊維品合計		23,446,081		1,724,522	116		107,688,506		9,740,375	124
原料(綿)合計	TON	4,416,112	6,817,524	426,403	168	TON	1,174,664	39,984	115,056	122
スフ綿	TON	164,419	467,136	9,097	72	TON	30,613	3,038	4,505	165
合繊綿	TON	835,306	1,381,998	45,106	78	TON	249,556	27,595	34,373	121
(ポリエステル)	TON	346,184	423,153	23,166	82	TON	224,833	23,987	25,375	111
(アクリル)	TON	484,623	878,156	19,851	78	TON	4,332	169	364	574
糸合計	TON	1,660,050	4,042,957	124,259	115	TON	4,906,807	104,861	355,140	126
人絹糸	TON	26,236	78,212	1,854	88	TON	70,216	6,334	22,463	120
スフ糸	TON	26,879	89,390	1,436	107	TON	30,579	1,831	6,284	135
合繊長繊維糸	TON	616,570	1,543,903	45,952	115	TON	381,855	36,381	79,746	168
(ナイロン)	TON	251,020	682,585	22,810	159	TON	78,816	6,978	23,259	115
(ポリエステル)	TON	295,494	522,692	19,583	101	TON	260,818	24,559	39,739	186
合繊短繊維糸	TON	149,671	376,436	7,393	84	TON	325,104	25,802	72,623	117
綿糸	TON	793,656	1,697,154	66,444	124	TON	469,630	28,614	84,684	112
繊維物合計	千LM	4,638,058	6,009,460	269,185	86	千LM	16,563,084	1,498,928	1,370,352	112
絹織物	千LM	45,693	117,096	2,678	87	千LM	288,182	22,390	67,013	91
人絹織物	千LM	82,694	122,550	3,440	103	千LM	36,016	2,895	2,418	79
スフ織物	千LM	58,124	100,319	2,635	85	千LM	898,195	78,070	55,377	111
合繊長繊維織物	千LM	2,016,102	2,029,732	114,994	87	千LM	6,144,908	548,274	399,617	102
(ナイロン)	千LM	660,899	585,866	30,414	79	千LM	251,307	138,571	11,294	131
(ポリエステル)	千LM	912,650	1,028,690	61,112	88	千LM	5,124,232	463,554	328,573	99
合繊短繊維織物	千LM	695,082	792,728	38,174	78	千LM	3,337,745	308,819	205,134	120
綿織物	千LM	1,564,514	2,159,441	92,458	88	千LM	5,495,734	498,894	543,895	122
毛織物	千LM	70,407	535,575	2,470	68	千LM	99,336	6,571	33,298	99
不織布	TON	135,081	490,543	10,480	112	TON	160,753	15,149	34,315	139
タイヤード織物	TON	18,313	71,770	1,286	89	TON	79,345	6,583	21,678	117
コーテッド織物	TON	264,082	1,025,710	17,269	107	TON	463,269	42,295	99,971	125
ニット生地	TON	460,587	1,879,207	27,176	93	TON	929,084	65,422	267,195	121
ニット製衣料			695,240		140				2,799,418	133
布帛製衣料			816,218		109				3,311,865	120
その他			1,597,452		105				1,365,385	130

出所：中国海関統計

EU（3億6,590万ドル：5%減）、韓国（1億1,797万ドル：73%増）、ロシア（1億470万ドル：92%増）の順で、米国、EUが昨年の激増もあり、減少推移となっているのが注目される。

また、布帛製衣料品の輸出先は1位がEU（7億2,408万ドル：23%増）、日本（6億428万ドル：9%増）、米国（5億2,597万ドル：4%減）、香港（3億5,299万ドル：5%増）、韓国（1億4,259万ドル：63%増）、ロシア（1億828万ドル：60%増）の順となっている。

織物類の輸出も、太宗の綿織物、合繊短繊維織物が好調に推移し、ポリエステル長繊維織物は伸び悩んでいるが、全体として、数量で12%増の14億9,893万メートル、金額で12%増の13億7,035万ドルと数量、金額共に2桁の伸びを維持している。

糸関係の輸出も、合繊長繊維糸、特にポリエステル長繊維糸の増加が著しく、また太宗の綿糸も好調で、全体として数量で26%増の10万4,861トン、金額で24%増の3億5,514万ドルと、数量、金額共に好調な推移となった。

綿類の輸出も、ポリエステル綿、スフ綿が大きく伸び、数量で22%増の3万9,984トン、金額で17%増の1億1,506万ドルと大幅に増加した。

【輸 入】

- 16%増の17億2,452万ドルと増勢傾向 -

繊維品輸入は、織物の輸入は減少しているが、綿類で、国内の綿花不足から特に綿花の輸入が激増し、全体として16%増の17億2,452万ドルと大幅な伸びとなった。

この結果、中国の1月の繊維品貿易収支の黒字額は前年同月比26%増の80億1,585万ドルとなった。

< 地域別、国別輸出状況 >

地域別では、東アジアがシェア65%（前年同月比：1%増）を占め、西アジアが4%（同54%増）、ヨーロッパが6%（同1%減）、北米が9%（同32%増）、中米が1%（同96%増）、南米が4%（同374%増）、アフリカが5%（同504%増）、大洋州が6%（同47%増）の市場構成となっている。

国別では、1位台湾（2億3,849万ドル：7%増）、続いて日本（2億2,341万ドル：19%減）、韓国（1億7,631万ドル：13%減）、米国（1億4,867万ドル：36%増）、香港（1億1,612万ドル：7%増）、EU（1億247万ドル：3%増）、オーストラリア（9,871万ドル：48%増）、インド（6,908万ドル：295%増）、ウズベキスタン（5,749万ドル：54%増）、パキスタン（5,339万ドル：15%増）の順で、この10大市場で全体の輸出の74%のシェアを占めている。

< 品目別輸入状況 >

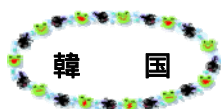
綿関係では、化合繊の輸入は低調な推移となったが、天然繊維の輸入が綿花の大幅増により大きく伸び、全体として、数量で68%増の4億2,640万ドル、金額で62%増の6億2,373万

ドルと大幅な増加となった。

糸関係は、太宗の綿糸及び合繊長繊維系、特にナイロン糸が大幅に伸び、全体として数量で15%増の1億2,426万ドル、金額で14%増の2億8,730万ドルと2桁の増加となった。

織物類は、綿織物、合繊長繊維織物等各品目とも総じて低調な推移となり、トータルとして数量で18%減の2億6,919万メートル、金額で14%減の3億6,699万ドルとなった。

その他品目では、ニット生地が金額で7%減の1億1,820万ドル、衣料品はニット製衣料品が40%増の4,479万ドル、布帛製衣料品が9%増の6,160万ドルとなった。



2005年の繊維品貿易・輸出は8%減、輸入は4%増

< 輸出は前年比8%減の137億61万ドル >

韓国の通関統計によれば、2005年の繊維品輸出は、クォータフリーによる中国等の躍進の影響もあり、糸、織物、衣料品類の不振を中心に、前年同期比8%減の137億61万ドルと苦戦を余儀なくされた。

市場的には、シェア54%を占める東アジア向けは横ばいの73億4,698万ドルに止まったものの、17%を占める北米が19%減の23億6,617万ドル、12%を占める欧州が18%減の16億9,920万ドルと、欧米市場向けが枠撤廃による中国進出の影響もあり、各々2桁の大幅後退となった。

主要国では、第1位市場の中国は6%増の29億2,067万ドルと好調に推移し、続いて米国が18%減の22億3,514万ドル、EUが23%減の11億7,228万ドル、香港が13%減の9億3,666万ドル、ベトナムが1%増の8億950万ドル、日本が1%減の7億2,339万ドル、インドネシアが8%増の6億1,713万ドル、アラブ首長国が8%減の3億7,162万ドルの順となっている。

品目別輸出では、原料関係では、綿類の輸出は、数量で9%減の70万7,590トンだったが、単価のアップにより、金額では横ばいの9億4,164万ドルとなった。太宗品目はポリエステル綿を中心とする合繊綿で、数量で9%減の68万1,815トン、金額では横ばいの8億8,751万ドルとなった。合繊綿の最大市場は中国で、数量で19%減の18万2,658トン、金額で11%減の2億5,540万ドルと数量、金額共に低調推移、続く市場の米国は数量で2%減の13万6,183トン、金額で14%増の1億6,348万ドルと数量増の金額減、第3位のEUは数量で14%減の11万7,651トン、金額で7%減の1億4,629万ドルと数量、金額共に減少した。この3カ国で数量ベースとして全体の64%を占めている。

糸類の輸出は、数量で18%減の45万9,760トン、金額で10%減の13億9,606万ドルと数量、金額共に2桁の減少となった。太宗品目は合繊長繊維系で、ポリエステル長糸を中心に、

2005年1～12月の韓国の繊維品輸出入状況

	輸 入				輸 出				
	2004年実績		2005年(1～12)		2004年実績		2005年(1～12)		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計									
原料(綿)合計	TON	6,683,284	TON	6,927,292	TON	14,904,325	TON	13,700,612	92
スフ綿	TON	378,948	TON	396,610	TON	781,597	TON	707,590	91
合繊綿	TON	46,471	TON	48,565	TON	11,559	TON	10,132	88
(ポリエステル)	TON	17,971	TON	19,590	TON	750,207	TON	681,815	91
(アクリル)	TON	3,314	TON	6,600	TON	608,708	TON	559,301	92
糸合計	TON	6,556	TON	8,158	TON	113,142	TON	183,933	76
人絹糸	TON	510,476	TON	517,430	TON	561,095	TON	1,552,481	82
スフ糸	TON	42,335	TON	43,137	TON	1,227	TON	9,200	99
合繊長繊維糸	TON	16,506	TON	16,557	TON	4,150	TON	21,085	102
(ナイロン)	TON	104,210	TON	309,302	TON	499,630	TON	1,266,375	119
(ポリエステル)	TON	20,941	TON	75,776	TON	58,462	TON	168,695	80
合繊短繊維糸	TON	68,022	TON	113,398	TON	352,927	TON	598,484	99
綿糸	TON	142,142	TON	334,372	TON	17,766	TON	89,116	78
繊維品合計	TON	194,005	TON	534,235	TON	32,593	TON	110,182	94
絹織物	TON	1,015,602	TON	1,025,199	TON	3,414,021	TON	3,196,082	104
人絹織物	TON	2,152	TON	2,103	TON	1,827	TON	1,817	99
スフ織物	千SM	4,553	千SM	3,787	千SM	277,160	千SM	223,281	105
合繊長繊維織物	TON	7,971	TON	5,770	TON	16,164	TON	15,555	81
(ナイロン)	千SM	250,897	千SM	140,601	千SM	2,772,128	千SM	1,929,074	84
(ポリエステル)	千SM	7,337	千SM	13,715	千SM	221,030	千SM	131,692	79
合繊短繊維織物	千SM	177,674	千SM	84,708	千SM	1,824,212	千SM	1,586,501	63
綿織物	TON	51,178	TON	179,608	TON	42,654	TON	229,619	89
毛織物	TON	84,194	TON	381,871	TON	73,779	TON	685,531	88
不織布	TON	3,507	TON	124,368	TON	4,890	TON	88,817	95
タイヤコード織物	TON	22,932	TON	101,664	TON	64,424	TON	339,942	93
コーテッド織物	TON	12,129	TON	45,427	TON	75,414	TON	250,729	114
ニット生地	TON	7,804	TON	59,373	TON	163,402	TON	998,465	106
ニット製衣料									81
布帛製衣料									88
その他									97
									79
									70
									102

単位:1000ドル

出所:韓国通関統計

数量で 20%減の 39 万 8,396 トン、金額で 12%減の 11 億 1,393 万ドルとなった。合繊長繊維系の最大市場も中国で、数量で 22%減の 8 万 7,646 トン、金額で 8%減の 2 億 5,737 万ドル、第 2 位は EU で、数量で 22%減の 5 万 2,599 トン、金額で 16%減の 1 億 5,222 万ドルと共に大きく減少したが、第 3 位の米国は数量で 10%増の 4 万 5,971 トン、金額で 27%増の 1 億 1,435 万ドルと数量、金額共に大幅に増加した。

最大輸出品目の織物類の輸出は、金額で 6%減の 31 億 9,608 万ドルと不振推移となった。

中でも韓国繊維品輸出の代表的品目でありその動向が注目されるポリエステル長繊維織物は、数量で 11%減の 16 億 2,529 万平方メートル(SM)、金額で 10%減の 14 億 2,725 万ドルと引き続き低調な推移となった。

ポリエステル長繊維織物の主要輸出国別は、1 位が中国で 24%増の 2 億 5,523 万 SM、2 位は枠がフリーになった米国で 10%増の 1 億 4,346 万 SM と上位 2 カ国は好調に推移したが、3 位のアラブ首長国は 17%減の 1 億 3,608 万 SM、4 位のサウジアラビアが 7%減の 1 億 3,132 万 SM、5 位の香港は 9%減の 1 億 480 万 SM で、6 位の EU は 1%減の 1 億 88 万 SM と何れも不振推移となった。その他主要市場は、ベトナム(9,752 万 SM:11%増)、トルコ(8,452 万 SM:3%減)、インドネシア(8,253 万 SM:19%減)等となっている。

その他主要織物類では、綿織物が 5%減の 6 万 9,897 トン、合繊短繊維織物が 12%減の 3 万 7,434 トン、人絹織物が 19%減の 2 億 2,328 万 SM、ニット生地は金額で 3%減の 26 億 8,872 万ドルとなった。

衣料品の輸出は、布帛製衣料品が 30%減の 9 億 7,352 万ドル、またニット製衣料品も 21%減の 13 億 6,650 万ドルと何れも大幅な減少推移となった。

< 輸入は 4%増の 69 億 2,729 万ドルと若干の増加推移 >

一方、韓国の繊維品の輸入は、主に中国からの衣料品輸入の増加により、前年同期比 4%増の 69 億 2,729 万ドルと若干の増加推移となった。

地域別では、シェア 77%を占める東アジアは 6%増の 53 億 1,391 万ドル、シェア 13%の西欧が 5%増の 8 億 7,069 万ドル、シェア 6%の北米は 2%増の 4 億 4,381 万ドルとなった。

国別では、最大輸入先国の中国は 11%増の 37 億 437 万ドル、EU が 4%増の 7 億 8,144 万ドル、日本が 5%減の 4 億 2,089 万ドル、米国が 2%増の 4 億 155 万ドル、インドが 18%減の 2 億 6,291 万ドル、インドネシアが 1%増の 2 億 1,178 万ドル、台湾が 4%減の 1 億 7,504 万ドル、オーストラリアが 19%減の 1 億 5,612 万ドルとなった。

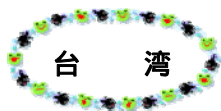
品目別輸入では、綿類の輸入は数量で 5%増の 39 万 6,610 トン、金額で 5%減の 7 億 6,746 万ドルと数量増の金額減となった。その大半は天然繊維原料の輸入である。

糸類の輸入は数量で 1%増の 51 万 7,430 トン、金額で横ばいの 14 億 5,095 万ドルと数量、金額共にほぼ横ばい推移となった。内訳は、最大品目の綿糸の輸入が数量で 2%増の 19 万 8,787 トン、金額で 10%減の 4 億 8,075 万ドルと数量増の金額減となったが、合繊長繊維系は、

ポリエステル系が大きく伸び、数量で12%増の11万6,298トン、金額で11%増の3億4,400万ドルと2桁の増加となった。その他の系では、合繊短繊維系が数量で1%増の14万2,871トン、金額で5%増の3億5,269万ドル、人絹系は数量で26%減の3万1,219トン、金額で13%減の1億2,853万ドルとなった。

織物類の輸入は、金額で1%増の10億2,520万ドルの微増となった。主要織物の内訳は、綿織物の輸入が数量で17%増の9万8,209トン、金額で11%増の4億2,526万ドルと2桁の増加、その他の織物では、合繊長繊維織物が数量で1%減の2億4,851万SM、金額で1%増の1億4,241万ドルとほぼ横ばい、合繊短繊維織物は数量で9%減の4万6,394トン、金額で9%減の1億6,288万ドルとなった。

また衣料品の輸入は、ニット製衣料品が9%減の8億5,190万ドルと減少したが、逆に布帛製衣料品は13%増の18億6,724万ドルと2桁の増加推移となった。



2005年の繊維品貿易・輸出は減少、輸入は微減

< 輸出は6%減の117億8,426万ドルと減少推移 >

台湾の通関統計によれば、2005年の台湾の繊維品輸出は6%減の117億8,426万ドルで、2004年は若干の増勢となったが、2005年は再び減少に転じた。

市場的には、全体の69%を占める東アジアは、中国向け輸出が10%増(18億6,824万ドル)と伸び、他にベトナムが6%増(9億1,416万ドル)、日本3%増(3億2,781万ドル)と増勢で推移したが、最大市場の香港が9%減の27億2,305万ドルと大きく後退し、全体として3%減の81億8,433万ドルとなった。その他主要市場である欧米市場は、2005年からクオータフリーの時代を迎え注目されるが、シェア13%を占める米国は15%減の15億4,175万ドルと中国の攻勢に押され大幅な減少、一方5%を占めるEUは2%増の6億4,782万ドルと健闘した。

品目別輸出では、原料関係の輸出は、綿類が数量で13%減の79万9,931トン、金額で6%減の11億3,932万ドルとなった。

中心品目の合繊綿は、ポリエステル綿が数量で14%減の56万6,503トン、金額で5%減の6億9,994万ドル、一方、アクリル綿は数量で9%減の11万4,246トン、金額で1%減の2億448万ドルとなった。ポリエステル綿の主要市場は、EU、ベトナム、中国、香港、米国の順で、EUは、数量、金額共に大幅な増勢推移となったが、米国は数量減の金額増、中国、香港は数量、金額共に大幅な減少となった。アクリル綿の主要市場は、中国、香港、インドネシアで、香港は数量、金額共に増加したが、中国は数量減の金額増、インドネシアは数量、金額共に大きく減少した。

2005年1～12月の台湾の繊維品輸出入状況

単位:1000ドル

	輸 入						前年比
	2004年実績		2005年(1～12)		前年比		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計		2,702,238		2,610,870		97	
原料(綿)合計	TON	364,763	586,759	393,618	533,077	108	
スフ綿	TON	13,064	25,140	13,783	27,770	106	
合繊綿	TON	35,571	71,415	30,534	66,019	86	
(ポリエステル)	TON	13,709	18,568	12,026	16,201	88	
(アクリル)	TON	6,579	16,218	4,867	11,970	74	
糸合計	TON	141,535	458,870	116,493	385,532	82	
人絹糸	TON	3,301	11,634	2,453	9,446	74	
スフ糸	TON	1,757	5,132	2,029	5,822	116	
合繊長繊維系	TON	59,997	234,873	50,306	210,768	84	
(ナイロン)	TON	29,253	95,643	23,764	91,191	81	
(ポリエステル)	TON	14,971	38,470	14,344	38,517	96	
合繊短繊維系	TON	31,983	68,147	21,449	48,879	67	
綿糸	TON	42,586	131,396	38,335	102,742	90	
雑物合計		221,209		179,438		81	
絹織物	千SM	459	3,663	463	3,478	101	
人絹織物	千SM	9,625	9,057	8,651	8,877	90	
スフ織物	千SM	6,410	8,378	1,974	6,154	31	
合繊長繊維織物			47,172	0	42,335	-	
(ナイロン)	千SM	11,130	6,426	6,594	6,749	59	
(ポリエステル)	千SM	28,477	23,423	23,042	22,198	81	
合繊短繊維織物	千SM	124,852	48,161	124,927	32,881	100	
絹織物	千SM	104,552	91,656	89,493	72,194	86	
毛織物	千SM	2,228	11,588	2,634	11,652	118	
不織布	TON	22,893	87,252	18,238	74,517	80	
タイヤコード織物	TON	10,135	39,393	9,358	41,131	92	
コーテッド織物	TON	5,213	57,475	5,019	48,946	96	
ニット生地			41,497		34,529	83	
ニット製衣料			371,745		427,418	115	
布帛製衣料			573,060		602,058	105	
その他			264,977		284,222	107	

	輸 出						前年比
	2004年実績		2005年(1～12)		前年比		
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
繊維品合計		12,561,115		11,784,256		94	
原料(綿)合計	TON	923,029	1,218,160	799,931	1,139,316	87	
スフ綿	TON	81,866	131,887	68,084	104,151	83	
合繊綿	TON	794,044	969,712	688,649	930,092	87	
(ポリエステル)	TON	659,809	736,005	566,503	699,942	86	
(アクリル)	TON	125,009	205,904	114,246	204,481	91	
糸合計	TON	1,085,928	2,144,699	1,002,540	2,174,876	92	
人絹糸	TON	7,640	23,845	7,435	26,638	97	
スフ糸	TON	11,372	32,079	7,781	25,884	68	
合繊長繊維系	TON	938,755	1,756,189	840,086	1,765,271	89	
(ナイロン)	TON	221,484	563,009	202,585	630,414	91	
(ポリエステル)	TON	669,896	1,052,316	596,782	1,007,940	89	
合繊短繊維系	TON	65,253	186,052	62,861	190,617	96	
綿糸	TON	59,774	124,563	81,965	145,011	137	
雑物合計		2,812,746		2,625,238		93	
絹織物	千SM	127	166	1,102	776	871	
人絹織物	千SM	57,723	46,652	40,474	39,257	70	
スフ織物	千SM	139,996	161,450	105,459	124,825	75	
合繊長繊維織物			1,734,820		1,650,526	95	
(ナイロン)	千SM	938,004	466,334	732,881	457,096	78	
(ポリエステル)	千SM	1,306,737	813,040	1,099,802	787,454	84	
合繊短繊維織物	千SM	340,500	286,192	389,940	311,533	115	
絹織物	千SM	381,939	575,455	338,476	492,341	89	
毛織物	千SM	505	1,722	366	1,507	73	
不織布	TON	62,097	192,182	62,642	205,940	101	
タイヤコード織物	TON	33,193	109,606	34,254	143,937	103	
コーテッド織物	TON	325,035	1,278,127	242,375	1,132,243	75	
ニット生地			1,976,127		1,862,675	94	
ニット製衣料			987,975		824,496	83	
布帛製衣料			678,609		479,461	71	
その他			1,162,883		1,196,073	103	

出所:台湾関統計

糸類の輸出は、数量で8%減の100万2,540トン、金額で1%増の21億7,488万ドルと数量減の金額微増となった。最大品目の合繊長繊維糸は、数量で11%減の84万86トン、金額で1%増の17億6,527万ドルとなった。内訳は、太宗のポリエステル糸が数量で11%減の59万6,782トン、金額で4%減の10億794万ドルと後退、またナイロン糸は数量で9%減の20万2,585トン、但し単価のアップにより、金額は12%増の6億3,041万ドルとなった。ポリエステル糸の主要市場は、中国、ベトナム、香港、EU、日本の順で、ベトナム、EUは数量、金額共に増加、中国、香港は、数量、金額共に減少、日本は数量減の金額増となった。ナイロン糸は、中国、香港が2大市場で、数量ベースとして全体の73%を占めるが、両市場共に数量減の金額増となった。

最大輸出品目の織物類の輸出は、金額で7%減の26億2,524万ドルと低調な推移に終わった。内訳は、中心品目のポリエステル長繊維織物が数量で16%減の10億9,980万平方メートル(SM)、金額で3%減の7億8,745万ドル、ナイロン長繊維織物は数量で22%減の7億3,288万SM、金額で2%減の4億5,710万ドルと、共に特に数量面で大きく後退した。

ポリエステル長繊維織物の主要市場は、数量ベースで、香港、中国、アラブ首長国、EU、ブラジル、米国がベスト6で、中国、EU、米国は数量、金額共に増加推移となったが、その他は数量、金額とも減少推移となった。

その他主要織物では、綿織物が数量で11%減の3億3,848万SM、金額で14%減の4億9,234万ドルと低調に推移、一方合繊短繊維織物は数量で15%増の3億8,994万SM、金額で9%増の3億1,153万ドルと主要織物で唯一好調に推移した。また、ニット生地は金額で6%減の18億6,268万ドル、コーテッド織物が金額で11%減の11億3,224万ドルとなった。

衣料品の輸出も不振で、布帛製衣料品が29%減の4億7,946万ドル、一方ニット衣料品は17%減の8億2,450万ドルと各々大幅な減少となった。

< 輸入は3%減の26億1,087万ドルと微減推移 >

繊維品の輸入は3%減の26億1,087万ドルと、微減推移となった。

地域別輸入では、全体の66%を占める東アジアからの輸入は、中国、韓国、ベトナムからは増加しているが、最大輸入先の香港、日本、インド、インドネシア、タイからの輸入が減少し、全体として2%減の17億1,801万ドルとなった。また、欧米からの輸入は、シェア13%のEUは3%減の3億3,571万ドル、シェア9%の米国は9%減の2億2,844万ドルとなった。

品目別輸入では、綿類は天然繊維原料を中心に数量で8%増の39万3,618トン、但し金額では9%減の5億3,308万ドルとなった。

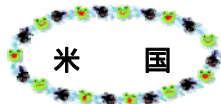
綿類の内訳では、ポリエステル綿中心の合繊綿の輸入は数量で14%減の3万534トン、金額で8%減の6,602万ドルと減少した。一方、スフ綿は、数量で6%増の1万3,783トン、金額で10%増の2,777万ドルと増勢推移となった。

糸類の輸入は、数量で18%減の11万6,493トン、金額で16%減の3億8,553万ドルと

数量、金額共に低調な推移となった。内訳は、太宗の合繊長繊維系の輸入は、数量で16%減の5万306トン、金額で10%減の2億1,077万ドルとなった。その他では、綿糸が数量で10%減の3万8,335トン、金額で22%減の1億274万ドルと低調推移、合繊短繊維系の輸入は数量で33%減の2万1,449トン、金額で28%減の4,888万ドルと大幅な減少となった。

織物類の輸入も、金額で19%減の1億3,808万ドルと低調な推移となった。内訳は、綿織物が数量で14%増の8,949万SM、金額で21%減の7,219万ドル、合繊短繊維織物は数量で横ばいの1億2,493万SM、金額で32%減の3,288万ドルといずれも数量横ばいの金額減、またポリエステル長繊維織物は数量で19%減の2,304万SM、金額で5%減の2,220万ドルと数量、金額共に低調な推移となった。

また、衣料品の輸入は、布帛製衣料品が5%増の6億206万ドル、ニット製衣料品が15%増の4億2,742万ドルと香港からの輸入を中心に増加傾向となった。



2006年1月の繊維品輸入、東アジア諸国が大幅増

2006年1月の米繊維品輸入は、中国、パキスタン、インドなど東アジア諸国からの輸入を中心に、引続き活発な増勢を示している。

米商務省が発表した2006年1月の米繊維品輸入は、42億SME（平方メートル換算）で前年同月比7.6%増となり、前月（5.8%増）および前年同月（6.4%増）の伸びを上回った。

この1月の輸入のうち、ノン・アパレル（糸、織物、その他繊維製品）が10.9%増、アパレルが3.2%増となった。特に、ノン・アパレルは、綿糸、化合繊長繊維系、ニット生地、綿シーツ等を中心に大幅に増加した。

主要地域別では、中国、パキスタン、インド、インドネシア、バングラデシュ、カンボジアといった東アジア諸国からの輸入が20%以上の大幅な増加となり、全体の輸入増を牽引している。

1月の主要地域別輸入状況は、以下の通り。

アジア地域では、いわゆるビッグ4（中国、韓国、台湾、香港）からの輸入が14.6%の大幅増となった。

このうち、中国は20.1%増と引き続き大きく伸び、32%という大きなシェアを占め、米繊維品輸入市場を凌駕している。

一方、韓国、台湾、香港は、中国の躍進の煽りを受けて生彩を欠いている。

韓国は糸の健闘で2.1%の若干増となったが、香港と台湾は共に衣料品の不振でそれぞれ16.3%、7.2%の減少となった。

アセアンからの輸入では、主力のインドネシアを筆頭に、フィリピン、ベトナム、カンボジアがいずれも二桁の増加となり、またタイも堅調に推移したことから、アセアン全体としては17.6%増と大きく伸びた。なお、アセアン諸国からの輸入は衣料品が中心で、全体の70%強を占めている。

米国の繊維品輸入推移

単位：100万SME、%

	ノン・アパレル		アパレル		合計	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
2000年	16,829	16.0	16,035	13.7	32,864	14.9
2001年	16,708	0.7	16,103	0.4	32,812	0.2
2002年	21,033	25.9	17,256	7.2	38,288	16.7
2003年	23,363	11.1	18,864	9.3	42,227	10.3
2004年	26,985	15.5	19,951	5.8	46,936	11.2
2005年	28,830	6.8	22,012	10.3	50,842	8.3
1月	2,247	5.0	1,646	8.5	3,892	6.4
2月	2,208	17.3	1,759	2.2	3,968	19.4
3月	2,340	4.9	1,728	7.0	4,069	5.8
4月	2,339	1.5	1,550	11.7	3,888	4.4
5月	2,544	8.3	1,704	24.2	4,248	14.2
6月	2,488	1.4	2,065	19.5	4,552	7.1
7月	2,352	0.1	1,991	7.3	4,344	3.3
8月	2,592	8.2	2,160	13.3	4,752	10.4
9月	2,489	12.0	2,127	8.9	4,617	9.6
10月	2,576	13.8	1,917	6.3	4,492	9.3
11月	2,420	9.8	1,770	8.3	4,190	9.2
12月	2,235	5.7	1,596	5.9	3,830	5.8
2006年						
1月	2,502	10.9	1,698	3.2	4,200	7.6

一方、米近隣諸国の NAFTA(北米自由貿易協定)パートナー(メキシコとカナダ)、カリブ海沿岸諸国(CBI)からの輸入は低迷している。

NAFTA パートナーからの輸入では、衣料品中心のメキシコは10.1%減、織物主体のカナダは11.0%減と何れも大幅な減少となり、両国合わせて10.5%減となった。

また、CBIからの輸入は、主要国のホンジュラス、エルサルバドル、ドミニカ共和国がいずれも10%台の減少となり、全体で11.6%の大幅減となった。CBIからの輸入は、アパレルが97%と殆どを占めている。

EU(15カ国)からの輸入は、主力のイタリーとドイツが共に織物の不振でそれぞれ19.9%、6.5%の減少となり、全体で4.1%減となった。

「その他地域」からの輸入では、東アジア諸国が「ポスト・クオータ」のメリットを享受して激増しており、パキスタンが36.4%、インドが34.2%、バングラデシュが29.0%のそれぞれ増加となった。

米国の繊維品輸入推移（主要地域・国別）

単位：100万SME、%

	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年 1月	前年 同月比
全世界	32,812	38,288	42,227	46,936	50,842	4,200	7.6
NAFTA	7,558	7,722	7,238	7,373	6,892	500	10.5
メキシコ	4,290	4,335	3,926	4,101	3,883	260	10.1
カナダ	3,268	3,387	3,312	3,272	3,009	240	11.0
CBI	3,704	3,830	4,046	4,168	4,169	238	11.6
ホンジュラス	1,032	1,099	1,165	1,209	1,262	72	11.8
エルサルバドル	768	817	895	895	897	54	13.2
ドミニカ共和国	773	743	758	772	725	30	16.2
ビッグ4	5,911	9,348	12,633	16,128	20,598	1,706	14.6
中国	2,211	4,963	8,288	11,662	16,766	1,386	20.1
韓国	1,383	2,032	2,097	2,301	2,028	177	2.1
台湾	1,224	1,391	1,356	1,302	1,083	86	7.2
香港	1,092	962	892	862	721	57	16.3
アセアン	4,390	4,766	4,980	5,140	5,145	507	17.6
タイ	1,308	1,316	1,098	1,114	1,052	103	5.0
インドネシア	1,165	1,215	1,151	1,275	1,354	137	30.1
フィリピン	916	817	794	711	643	58	13.2
ベトナム	33	358	827	905	951	93	17.1
カンボジア	389	474	561	673	740	80	25.5
EU（15カ国）	1,868	2,055	2,059	2,063	1,912	163	4.1
イタリー	521	518	533	462	385	32	19.9
ドイツ	457	551	484	479	453	40	6.5
その他	9,381	10,567	11,272	12,064	12,126	1,086	10.4
パキスタン	2,189	2,537	2,690	2,970	3,291	302	36.4
インド	1,250	1,545	1,666	1,915	2,335	223	34.2
バングラデシュ	1,169	1,150	1,110	1,109	1,314	128	29.0
トルコ	871	1,068	1,026	982	844	59	23.5

2006年2月の大手小売店販売、冷え込む

65社で3.2%増

米国の2006年2月の大手小売店売上高は、悪天候の影響を受けて客足が伸びず、前月及び前年同月の伸びを大きく下回った。

米国の国際ショッピング・センター協会（ICSC）が纏めた「米チーン・ストア販売動向レポート」によると、米大手小売店65社の2006年2月の売上高は前年同月比（既存店比、以下同じ）3.2%増となり、前月（5.0%増）及び前年同月（4.9%増）の大幅な伸びから大きく鈍化した。

アナリストは、2月の小売販売について、「消費者は、1月に暖かい天候に誘われて在庫一掃販売の冬物と早めの春物を買ったが、2月に入って再び寒さと雪の冬の気候に戻ったことによる

暖房費の上昇に加え、住宅市場の減速、金利上昇に直面した。このため、消費者の春物衣料等への関心が冷え込み、客足が伸びず、2月の小売販売は減速した」と分析している。

衣料品を中心とした、ストア・タイプ別販売状況は、以下の通り。

米大手小売店の売上高の伸び率推移

単位：%

年月	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
1	5.7	4.8	5.2	1.8	5.9	3.6	5.0
2	6.0	3.1	6.2	0.9	6.8	4.9	3.2
3	2.1	1.7	6.4	-0.2	6.8	4.1	
4	7.9	3.8	1.6	3.1	3.7	2.2	
5	5.0	1.5	3.4	2.0	5.4	2.9	
6	3.7	2.8	5.1	2.4	2.6	5.2	
7	4.4	3.4	2.6	4.2	3.8	3.6	
8	4.2	3.6	1.6	4.9	1.3	3.6	
9	4.3	0.9	1.5	5.8	2.4	4.0	
10	3.8	2.3	3.1	2.4	4.1	4.4	
11	4.0	2.1	0.0	3.3	1.7	3.5	
12	0.7	2.2	1.0	4.3	2.7	3.2	
年間平均	4.0	2.6	3.1	2.9	3.8	3.9	

注：伸び率は前年同月比(既存店比)の増減を示す。

大手百貨店の2月の販売は、一部を除き、全般的に堅調に推移した。

高級百貨店の販売は、サクスが6.4%減となったが、ノードストロムは4.9%増、ニーマン・マーカスは3.0%増となった

このうち、サクスは、毎年2月に開催していた全店舗の在庫処分販売が今年は1月に行われて、在庫処分商品が少なくなるなどの様々な要因で、2月の販売は減少となった。

それでも、商品では、女性用のアウターウェア、デザイナー・アパレル、男性用のコンテンツポラリー・スポーツウェアと服飾品がベスト・セール品目であった。

一方、ニーマン・マーカスは、地域では中西部とテキサス、商品では女性用のコンテンツポラリー・スポーツウェア、高級アパレル、男性用衣料品が好調であった。

中級百貨店では、ディラードが2.0%減となったが、コールズは3.4%、J.C.ペニーは2.3%、フェデレーテッドは1.0%のそれぞれ増加となった

このうち、ディラードは全体でマイナスとなったが、商品ではランジェリー、アクセサリー、室内装飾品、また地域では東部と西部の販売が伸びた。

一方、事前の予想を上回って堅調に推移したJ.C.ペニーは、「2月の販売は、商品ではバレンタイン・デー・ギフト用の家庭用品、男性用品、地域では西部と南東部が伸びた」と語っている。

大手衣料品専門店チェーンの2月の販売は、ストア・タイプ別では最も大きなばらつきが見られた。

若者向け衣料品専門店チェーンでは、アメリカン・イーグルが6.0%増、アバクロンビー&フィッチとリミテッド・ブランドが5.0%増となったが、ギャップは11.0%減、エアロポステールは5.4%減、パシフィック・サンウェアは3.1%減となった。

このうち、アバクロンビー&フィッチは、男性用ではニット・トップス、グラフィックTシャツ、女性用ではニット商品、ショーツ、パンツが好調であった。

一方、衣料品専門店チェーン最大手のギャップ

は、客足の不振で、オールドネイビーとギャップ・インターナショナルが14%減、バナナリパブリックが11%減、ギャップが7%減と、各部門別とも減少となった。それでも、商品では、女性用のニット商品、ケーブル・クルー・セーター、カービー・トラウザー、男性用のニット商品、セーター、パンツが良く売れた。

キャリアウーマン向け衣料品専門店チェーンは、アン・テラー・ストアが5.6%増と順調に伸びたが、タルボットは6.0%の大幅減となり、明暗を分けた。

このうち、アン・テラー・ストアは、「アン・テラー部門(高級衣料品店)が9.8%増、アン・テラー・ロフト部門(手頃価格衣料品店)が4.2%増と、何れも順調に推移した。両部門とも、春物の売行きが良く、商品ではリラックス・セパレート、ニット・トップス、ドレス、ファッション・アクセサリが予想を上回る売上げを示した」と説明している。

また、タルボットの首脳は、「2月中旬の北東部の豪雪で著しい影響を受けた」と述べている。

大手ディスカウント・ストアの2月の販売は、ターゲットが3.6%増、ウォル・マートが3.2%増と共に堅調に推移した。このうち、世界最大の小売企業であるウォル・マートでは、食料品の売上げが引続き一般商品を上回った。

米主要小売店の2006年2月の販売状況

単位：100万ドル、%

小売店名	売上高	
	前年同月比	
<百貨店>		
ディラード	644	- 2.0
フェデレーテッド	1,801	1.0
J.C.ペニー	1,093	2.3
コールズ	819	3.4
ニーマン・マーカス	291	3.0
ノードストロム	499	4.9
サクス	362	- 6.4
<衣料品専門店チェーン>		
アバクロンビー&フィッチ	193	5.0
アメリカン・イーグル	143	6.0
アン・テラー・ストア	130	5.6
エアロポステール	68	- 5.4
ギャップ	865	- 11.0
リミテッド・ブランド	636	5.0
メンズ・ウェアハウス	122	0.9
パシフィック・サンウェア	89	- 3.1
タルボット	91	- 6.0
<ディスカウント・ストア>		
ターゲット	3,731	3.6
ウォル・マート	25,034	3.2

組合関係の会議と催事

【2006年3月】

輸出

- ・第25回書面理事会を執行。
- ・平成17年度第3回企画委員会を開催。
- ・平成17年度第5回「組合運営に関するタスクフォース」を開催。
- ・商品別委員会、各部会を開催。(主に、平成18年の輸出見通しを策定)

輸入

- ・貿易制度専門委員会「環境リサイクル対策G」が韓国へ調査団を派遣。

1日(水)

輸入(東京) アパレル委員会正副委員長会議(尾川委員長)が開催され、本年度海外調査ミッションの派遣先と時期について検討を行った。

2日(木)

輸出(大阪) 平成17年度第1回アパレル部会(大阪)(議長:菅野副部会長)が開催され、平成18年の輸出見通しが策定された。

3日(金)

輸入(東京) 貿易政策調査研究(タイ)について打合せを行った。

(大阪) 第24回綿委員会(大塚委員長)が開催され、2006年1~3月、4~6月期綿糸、綿織物輸入見通し策定 中国よりの不明瞭な海上運賃請求問題 インド綿製品輸出促進協会ミッションの受入れについてそれぞれ審議が行われた。

6日(月)

輸出(大阪) 平成17年度第1回織・編物委員会(議長:林委員長)が開催され、平成18年の織・編物の輸出見通しが策定された。

7日(火)

輸出(大阪) 平成17年度第1回原料委員会(議長:砂山副委員長)が開催され、平成18年の原料(綿・糸)の輸出見通しが策定された。

8日(水)

輸出(大阪) 平成17年度第1回不織布委員会(議長:柳川委員長)が開催され、委員長辞任に伴う後任委員長(柳川勝彦氏=三菱商事)の選任が行われ、平成18年の不織布の輸出見通しが策定された。

13日(月)

輸出(横浜) 平成17年度第1回スカーフ・ハンカチーフ部会(議長:五十嵐部会長)が開催され、平成18年の輸出見通しが策定された。

14日(火)

輸入(東京) JICA研修で来日中のルーマニア政府の貿易振興研修員4名が来所し、事務局よりレクチャーを行った。

15日(水)

輸出(大阪)平成17年度第1回家庭用品部会、同部会敷物分科会(議長:俣野部会長)が開催され、平成18年の輸出見通しが策定された。

16日(木)

輸出(大阪)平成17年度第1回製品資材部会(議長:森田副部会長)が開催され、平成18年の輸出見通しが策定された。

輸出(大阪)平成17年度第1回漁網・漁網糸部会(議長:桃井部会長)が開催され、平成18年の輸出見通しが策定された。

17日(金)

輸出入(名古屋)名古屋事務所世話人会を開催。

輸出(東京)平成17年度第1回アパレル部会(東京)(議長:小林部会長)が開催され、平成18年の輸出見通しが策定された。

(大阪)対欧米輸出統計の検収が行われた。

19日(日)~22日(水)

輸入(韓国)貿易制度専門委員会「環境リサイクル対策G」が韓国へ調査団(諏訪対策G長他3名)を派遣。

22日(水)

輸出(大阪)平成17年度第3回企画委員会(議長:吉澤委員長)が開催され、最近のEPA(経済連携)の進捗状況、平成18年の繊維品輸出見通し、平成18年度「貿易一般保険包括保険(繊維品)特約」の締結、平成18年度輸出振興対策、中国における現地繊維商社会の設置について検討が行われた。

23日(木)

輸出(大阪)平成17年度第5回「組合運営に関するタスクフォース」(議長:西田議長)が開催され、平成18年度輸出振興対策について検討が行われた。

24日(金)

輸出(大阪)第25回書面理事会(議長:内海専務理事)が執行され、平成18年度「貿易一般保険包括保険(繊維品)特約」の締結について承認された。

輸入(東京)インド綿製品輸出促進協会(TEXPROCIL)副会長が来所され、5月に来日予定の同協会ミッションの詳細打合せを行った。

27日(月)

輸入(東京)貿易調査研究打合せを行った。

28日(火)

輸入(東京)国際繊維貿易統計の検収が行われた。

4月のスケジュール(4月3日現在)

3日(月)	輸出入	(東京)	「第10回日中繊維貿易定期協議」
4日(火)	輸入	(大阪)	「日本黄麻製品輸入協議会・第119回運営委員会」
11日(火)	輸出	(大阪)	あずさ監査法人による会計監査
~12日(水)			
14日(金)	輸入	(東京)	「第4回組合運営に関するタスクフォース」
17日(月)	輸入	(東京)	高橋公認会計士による会計監査
18日(火)	輸入	(東京)	平成17年度監事会
21日(金)	輸出	(大阪)	平成17年度監事会
24日(月)	輸出	(大阪)	「平成18年度第1回企画委員会」
26日(水)	輸入	(東京)	「第140回企画委員会」
28日(金)	輸出	(東京)	「第26回理事会」
	輸入	(東京)	「第337回理事会」
	輸入	(大阪)	「第82回中国アジア専門委員会」

輸入

組合業務報告

- 輸出入組合と中国紡織品進出口商会との「第10回日中繊維貿易定期協議」
開催概要 -

日本繊維輸出組合

日本繊維輸入組合

輸入組合・輸出組合と中国紡織品進出口商会は去る4月3日(月) 組合東京本部会議室にて「第10回日中繊維貿易定期協議」を開催した。概要は以下のとおり。

輸出入組合と中国紡織品進出口商会との「第10回日中繊維貿易定期協議」

一、日 時：2006年4月3日(月) 13:45～16:00

二、場 所：日本繊維輸入組合 東京本部 会議室

三、出席者：(別紙)

四、協議要旨：

1. 足立哲団長 挨拶

2. 王瀋陽団長 挨拶

3. 状況報告

(日本側) 日本の繊維品輸出入状況及びFTA等の影響について

(中国側) 中国の紡織品輸出入状況及び対欧米輸出規制等の影響について

4. 意見交換《自由討論》

5. 備忘録の確認、調印 15:45～15:55

6. 閉会挨拶 日中双方団長 16:00

以上

(中国側商会出席者)

	姓 名	商会职务	部 門
团长	王 沈 阳 WANG SHEN YANG	会 长	中国纺织品进出口商会
	王 宇 WANG YU	秘书长	中国纺织品进出口商会
	胡 敏 HU MIN	主 任	中国纺织品进出口商会 服装部
	杨 霞 YANG XIA	主 任	中国纺织品进出口商会 丝绸部
	肖 领 XIAO LING	副主任	中国纺织品进出口商会 办公室
翻译	尹 富 平 YIN FU PING		

(日本側組合出席者)

組合役職	氏名	会社名	会社役職
副理事長	足立 哲 ADACHI SATOSHI	丸紅(株)	執行役員 繊維部門長代行 関西役員担当
企画委員会 委員長代行	岩佐 和幸 IWASA KAZUYUKI	丸紅(株)	繊維部門 繊維総括副部長
専務理事	内海 博基 UTSUMI HIROMOTO	日本繊維輸出組合 日本繊維輸入組合	
常務理事	小村 恒夫 KOMURA TSUNEO	"	
常務理事	柴田 修孝 SHIBATA NOBUTAKA	日本繊維輸入組合	
参事	神保 敬一 JIMBO KEIICHI	"	
	市川 順一 ICHIKAWA JYUNICHI	"	
主事	竹内 友幸 TAKEUCHI TOMOYUKI	"	
通訳	安 小 鉄 AN XIAO TIO		

第10回日中繊維貿易定期協議備忘録

日本繊維輸入組合・日本繊維輸出組合と中国紡織品進出口商会は2006年4月3日に東京において第10回日中繊維貿易定期協議を共同開催し、双方は以下の通り合意した。

1. 双方は友好的な雰囲気の中で、中日両国の繊維貿易動向及びクォーターフリー後の対応等について意見を交換し、並びに日中繊維品貿易の現状とそれに伴う問題について検討した。
2. 双方は日中間の経済と貿易が益々緊密になり、繊維品貿易は其中で重要な役割を担っていることを共通の認識とした。このため、両国の繊維品貿易業界に定期的な交流し密接に合作する必要性が十分あり、双方は引き続き繊維品に関する情報と人的交流を更に強め、新しい合作の領域を検討し、日中繊維貿易の健全で持続的な発展の促進に努めることに同意した。
3. 双方は日中共生というキーワードの重要性を共有し、この視点に立った会員企業の展示会・商談会等の双方の事業を支持し、参加者を招致する等具体的な協力を提供することに同意した。
4. 双方は今後も引き続き共同事業を行うことに同意した。具体的な共同事業は双方の提案によって事務局で検討する。
5. 今回の協議により、双方は2007年に中国で第11回日中繊維貿易定期協議を開催することとし、具体的日程は別途協議して決定することに合意した。



足立 哲

日本繊維輸入組合
日本繊維輸出組合
日本代表団団長



王 瀋 陽

中国紡織品進出口商会会長
中国代表団団長

平成 18 年度の繊維品包括保険特約を締結（輸出組合）

輸出組合は独立行政法人日本貿易保険(NEXI)との間で「貿易一般保険包括保険(繊維品)特約」を締結し、包括保険を実施してきていますが、平成 17 年度の同特約が本年 3 月末で失効することにより、3 月 24 日執行の書面理事会の承認を得て、平成 18 年度も特約を締結し、包括保険を実施することになりました。

平成 18 年度の繊維品包括保険の概要と留意点は、以下の通りです。

1. 包括保険特約の締結

輸出組合は、独立行政法人日本貿易保険(NEXI)との間で平成 18 年 4 月 1 日以降向う 1 年間における「貿易一般保険包括保険(繊維品)特約」を締結しました。

同特約の内容は、平成 17 年度の内容を一部改正されたものとなっていますが、繊維品包括保険の運用上支障のない内容であり、従来どおり、特に下記の諸点には十分留意下さるようお願いいたします。

(1) 特約貨物の保険付保義務

被保険者である組合員は、同特約第 1 条に規定するところにより、締結された 1 つの輸出契約において下記特約貨物の輸出価額の合計が 50 万円を超えるとき又は輸出契約に下記の重大な変更を行ったときは、原則として 1 月以内に「貿易一般保険包括保険(繊維品)申込書」により輸出組合を通じ日本貿易保険に対し、必ず、包括保険の申込みを行わなければならないことになっていますので、特に“付保脱漏”のなきよう周知徹底方よろしくお願いいたします。

[特約貨物]

漁網(スポーツネット及びその他の網類を含む。)、
羊毛及び獣毛(洗上羊毛、ノイル、トップ及びカードしたもの。)、
人造繊維綿、系(絹紡糸を除く。)、漁網糸、織物及びニット生地、
フェルト及び不織布、衣料品、家庭用品、スカーフ及びハンカチーフ、
敷物(繊維製のものに限る。)、繊維雑品

(2) 輸出契約の重大な変更

表示通貨の変更

当初又は内容変更承認後の輸出価額の増加の累計が当初又は内容変更承認後の輸出価額の 5% 以上かつ 50 万円以上の増額

仕向国の変更

支払国の変更

決済方法の変更

当初 L / C 決済であった輸出契約が非 L / C 決済に変更された場合に限る。

(3) 非 L / C 決済とバイヤー登録とに係る保険求償の関係

輸出契約で非 L / C 決済を約している場合又は非 L / C 決済に変更された場合は、**バイヤー登録を行って後に**、保険申込み(又は保険変更申込み)を行って下さい。

本手続きに関し、以下の場合は信用危険(輸出契約の相手方の破産やそれに準じる事故)により生じた損失はてん補されませんのでご注意ください。

保険申込み又は保険変更申込み前にバイヤー登録が行われていない場合
バイヤー登録ができていても、非 L / C 決済への保険変更申込みが行われていない場合

登録されたバイヤーが海外商社名簿上名簿区分 P (信用状態不明等により格付が確定できない者)若しくは事故管理区分 R (債務不履行等)に格付けされている場合

(4) 「包括保険申込書」に記載する“支払国”名

輸出契約の相手方と支払人が異なる場合、当該輸出契約書から読取れる**真の支払人**の所在する国名を記載して下さい。

輸出契約書から読取れる支払国名と保険申込書に記載の支払国名が一致していない場合、保険求償が困難となります。

2. 保険引受基準の改定

繊維品包括保険における引受基準内容は、一部改定内容で適用されています。

但し、**ユーザンスが6ヶ月を超えるものは**、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり、引受けられません。

3. 地域差料率(国倍率)の改定

繊維品包括保険における非常危険てん補に係る保険料計算に適用する地域差料率(国倍率)について、一部の国の料率を改定内容で適用されています。

なお、上記2及び3の内容は取り扱いに注意して、外交上の問題が生じないよう、貴社限りのものとして下さい。

- 貿易制度専門委員会「環境リサイクル対策 G」韓国派遣調査概要 -

日本繊維輸入組合

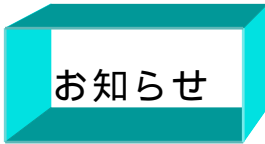
輸入組合、貿易制度専門委員会「環境リサイクル対策 G」は経済産業省「繊維製品 3R 推進会議」に提出した組合のアクションプランに従い、アジア及び環太平洋諸国等における先進都市の繊維製品 3R の現況を調査し、日本におけるリサイクルシステム構築の参考としている。本年 3 月、調査の一環として韓国に調査団を派遣した。概要は以下のとおり。

貿易制度専門委員会「環境リサイクル対策 G」韓国派遣調査

1. 派遣国 : 韓国(ソウル、仁川、大田)
2. 派遣時期 : 2006 年 3 月 19 日(日)～22 日(水)
3. 目的 : 経済産業省「繊維製品 3R 推進会議」に提出した当組合のアクション・プランに従い、アジア及び環太平洋諸国等における先進都市の繊維製品の 3R の現況を調査し、日本におけるリサイクル・システムの構築の参考とする。
 日本繊維輸入組合と(社)日本貿易会は共同で「繊維製品 3R 推進協議会」の提言に基づき、輸入業界としての繊維製品 3R 推進のための「アクション・プラン」を作成し「繊維製品 3R 推進会議」に提出した。アクション・プランは、リユースと啓発活動を中心に、機関誌及び HP により情報を提供し組合員・会員に対する啓発・広報活動、繊維製品 3R に関するセミナーの開催、非営利団体の行う繊維製品リユース活動への協力、海外における繊維製品 3R の実情調査、という内容。
 経済産業省により既に 3R の現状が調査されている欧米地区を除いたアジア・環太平洋諸国の主要都市において、繊維製品のリサイクルに関する法制度や国・自治体や社会福祉団体などの 3R への対応やチェーン展開している中古衣料店の実態などを調査し、日本の繊維業界におけるリサイクル・システムの参考とすることが目的である。また、調査結果については経済産業省「繊維製品 3R 推進会議」に報告される。
4. 派遣団員 : 諏訪対策 G 長 伊藤忠商事(株)
 神谷副委員長 三井物産(株)
 萩原副委員長 住金物産(株)
 森 事務局 合計 4 名
5. 訪問先 : (韓国政府機関)
 ソウル市庁環境局(ソウル)
 事業廃棄物再活用技術開発事業団(大田)
 韓国環境支援公社(仁川)
 (市民団体)
 アルンダウン(Beautiful Store)(ソウル)中古品(衣料品)の回収、選別、販売

日程表

日次	月・日 (曜日)	交通 機関名	都市名	発着 現地 時刻	概 要
1	3月19日 (日)	JL953	東京(成田) ソウル(仁川)	14:05 16:45 晩	成田(第2)発【所用時間:2時間40分】 仁川国際空港 着 通訳兼ガイドとの現地スケジュール等打合せ
		専用車	ソウル	宿泊	ソウルプラザホテル
2	3月20日 (月)	専用車	ソウル	08:20	ホテル出発
				09:30	・市民団体「アルンダウン(Beautiful store)」 分別工場 面談者:企画部 パク ピョンオク氏 電話:031-465-2261
				14:00	・ソウル市庁 環境局 環境課 面談者:課長補佐 リ インケウン氏 電話:02-3707-9525 住所:38, Seosomun-Dong, Jung-Gu, Seoul
				15:30	・市民団体「アルンダウン(Beautiful store)」 本部及びショップ 面談者:販売部部长キム チェチュン氏 電話:03-3676-1009 住所:45, Anguk-Dong, Chongro-Gu, Seoul
		宿泊	ソウルプラザホテル		
3	3月21日 (火)	専用車	ソウル 大田	08:00	ホテル出発
				11:00	・事業廃棄物再活用技術開発事業団 Industrial Waste Recycling R&D Center 面談者:リ カンイン博士 電話:042-868-3620 :30, Gajeong-Dong, Yuseong-Gu, Daejeon
			仁川	15:30	・韓国環境支援公社(ENVICO) Korea Environment & Resource Corporation 面談者:国際政策調査センター 副部長 リ カップジン氏 ウォン ヨンコック氏 電話:032-560-1424 場所:404-170 General Environmental Research Complex, Gyeongseo-Dong, Seo-Gu, Incheon
				宿泊	ソウルプラザホテル
4	3月22日 (水)	専用車			ホテル出発
		JL950	ソウル(仁川) 東京(成田)	09:30 11:50	仁川国際空港 発【所用時間:2時間30分】 成田(第2) 着



繊維品の包括保険の「保険責任期間終了」と「保険期間延長手続き」(輸出組合)

以下に掲げる保険申込書の「保険責任期間」が、平成 18 年 5 月末日に終了しますので、延長を必要とするものがありましたら、必要書類を添付の上、組合に申請してください。保険責任期間が「6 ヶ月」延長されます。

- * 平成 17 年 11 月に新規提出された決済条件が、「前受け」のもの
- * 平成 17 年 5 月に新規提出された決済条件が、「前受け」以外のもの

(注) 当初の保険責任期間は「前受け」6 ヶ月、「前受け以外」12 ヶ月となっています。

1. 提出期限：平成 18 年 5 月 22 日(月)
2. 提出書類： 貿易一般保険包括保険(繊維品)
 保険期間延長依頼書 2 通
 (用紙は事務局で準備しています。)
 延長を必要とする包括保険申込書のコピー .. 1 通
3. 提出先:総務部(☎06-6201-1832)

なお、延長手続きの FAX による申込みも可能です。(FAX:06-6201-1814)
 保険期間終了の保険申込書番号は以下の通りです。

前受けに係る 2005 年 11 月度受付保険申込書番号

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 5	106933 ~ 107670	103131 ~ 103480	100321 ~ 100337
	509287 ~ 510120		

前受け以外に係る 2005 年 5 月度受付保険申込書番号

記号 \ 受付局区分	大 阪	東 京	名 古 屋
J T - 0 5	103003 ~ 103843	101248 ~ 101496	100156 ~ 100179
	503768 ~ 504673		

「スリナム」向け保険引受方針の変更（輸出組合）

このたび独立行政法人日本貿易保険（NEXI）から、“「スリナム」（国コード：404）向けの引受方針を緩和し、実施日より適用する。”旨連絡がありましたので通知します。

この結果、以下の取扱いとなります。

1．条件付引受停止国から条件付引受国に緩和

<国コード>	<国名>	<国倍率>	<引受限度額>	<ILC取得条件>
404	スリナム	8.0倍（据置）	1億円	有り

2．実施日：平成18年3月17日

* 国倍率（地域差料率）とは、非常危険てん補に係る保険料計算に適用される基本料率に対して掛けられる倍率です。

なお、ユーザンスが6ヶ月を超えるものは、ベルン・ユニオンのルールに基づき、従来どおり引受けられません。

お知らせ

- 2006年5月の輸入通関手続相談窓口開設日 -

2006年5月の輸入通関手続相談窓口は下記要領により開設します。
申告手続、品目分類、関税評価、暫8手続等々通関業務諸問題
についてご相談の向きはご連絡下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日 2006年5月10日(水)及び5月24日(水)
2. 場所 日本繊維輸入組合 東京本部
3. 時間 午後1時より午後5時まで
4. アドバイザー 片山 喬次
(元東京税関関税評価部門特別価格審査官)
5. 連絡先

Tel 番号 03(3270)0791

Fax 番号 03(3243)1088

E Mail 0023@j t i a . o r . j p (片山)

なお、事前の面談申込みや相談窓口開設日以外のお問合わせ、
ご質問につきましては、事務局がお取次ぎ致しますので、本件
事務局担当：国信までご連絡下さい。

以上

組合員情報

組合員の脱会

- (輸出) 有限会社 プラム(2006年3月6日付け)
ワタイク株式会社(2006年3月13日付け)

取引照会・展示会案内

[原文は、輸入及び展示会は輸入組合・市場対策室(Tel:06-6202-5575)に保管していますので、必要な向きはご照会下さい。 また、輸出の詳細は同組合のホームページ(<http://www.jtea.or.jp>)をご覧ください。]

<p>輸入</p> <p>No.4325 中国 リネン織物</p> <p>会社名 : SHANGHAI BEST LINEN COTTON TEXTILE FACTORY.</p> <p>住所 : Rm 1203 No.3, 37 Long Zhang Jia Bang Road Pudong District, Shanghai-200122, China</p> <p>担当者 : Mr. James Yao, President</p> <p>F A X : 0086-21-5436-9035</p> <p>T E L : 0086-21-5831-6519</p> <p>品 目 : 100% Linen, 100% Ramie Fabrics, and Linen & Rayon/Linen & Cotton blend Fabrics.</p>
<p>輸入</p> <p>No.4326 中国 靴下</p> <p>会社名 : KINDY ASIA LIMITED</p> <p>住所 : Suite 1501, Finance Square, 333 Jiujiangt Road, Shanghai-200001, China</p> <p>担当者 : Mr. Benjamin Bergogne, Sales Manager</p> <p>F A X : 86-21-6360-4636</p> <p>T E L : 86-21-6360-9226</p> <p>品 目 : Socks (French-quality Socks at Chineses Price).</p>
<p>輸入</p> <p>No.4327 インド 織物、衣料品、繊維二次製品</p> <p>会社名 : THE HANDICRAFTS AND HANDLOOMS EXPORTS CORPORATION OF INDIA LIMITED</p> <p>住所 : 11-C, "Nirmal" Nariman Point, Mumbai-400 021, India</p> <p>担当者 : Mr. D. N. Mahajan, Dy. Manager</p> <p>F A X : 91-22-02-24312</p> <p>T E L : 91-22-02-2832</p> <p>品 目 : Woven Fabrics, Garments, Floor Cocerings, Made-ups, Handicrafts, etc..</p>
<p>輸入</p> <p>No.4328 パキスタン カーペット、衣料品等</p> <p>会社名 : G-TEX INTERNATIONAL</p> <p>住所 : H / No 140 / A , Peoples Colony No-1, Faisalabad , Pakistan</p> <p>担当者 : Mr. Sultan Ali Shah</p> <p>F A X : 92-041-21-4862</p> <p>T E L : 92-321-669-5077</p> <p>品 目 : Carpets, Knitted and Woven Garments, etc.</p>
<p>輸入</p> <p>No.4329 パキスタン 衣料品</p> <p>会社名 : M. S. CORPORATION</p> <p>住所 : 216, International Auto Parts Market, Marston Road, Karachi, Pakistan</p> <p>担当者 : Mr. Muhammad Imran Khan, Managing Director.</p> <p>F A X : 92-21-773-0676</p> <p>T E L : 92-21-492-9576</p> <p>品 目 : All Kind of Knitted and Woven Garments..</p>

(国内)

No.1065 インド

第17回インド家庭用品展
(17th India Home Furnishing Fair 2006)

会期 : 2006年5月23日(火)~25日(木) 9:30~17:30
会場 : マイドームおおさか2階(大阪市中央区本町橋2-5)
主催 : インド貿易振興局
後援 : 外務省、経済産業省、大阪府、大阪市、インド大使館、日本繊維輸入組合等
出展社数 : 約60社
展示商品 : ベッド・テーブル・キッチンリネン、カーペット、カーテン、インテリア用生地等
問い合わせ先 : インド貿易振興局(Tel:03-3431-5659)

No.1066 タイ

タイ国衣料品展示商談会 2006

大阪会場

会期 : 2006年5月29日(月)~30日(火) 10:00~17:00
会場 : 大阪サンライズビル3階ホール(大阪市中央区備後町2-6-8)

東京会場

会期 : 2006年6月1日(木)~2日(金) 10:00~17:00
会場 : ラフォーレ原宿ミュージアム(東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6階)
主催 : タイ国政府商務省輸出振興局(DEP)
出展社数 : 約30社
展示商品 : 紳士・婦人・子供用各種衣料品等
問い合わせ先 : タイ国政府貿易センター 東京(Tel:03-3221-9482), 大阪(Tel:03-3431-5659)